

復旧治山

山くずれなどによる崩壊地や荒廃溪流を復旧整備します。放置しておくと大きな災害をひきおこす危険が高いため、工事は迅速に行われます。森林を保全し山村の暮らしを守るとともに下流への洪水を防ぎます。



宮沢 昭和26年度 小鹿野町藤倉



上谷 昭和50年度 越生町上谷



昭和49年被災



昭和56年現在

大嶺 都幾川村大野



刈場坂 昭和51年度 飯能市北川

地すべり防止

県内の地すべり地帯は、傾斜がおだやかですべり層も比較的浅く、動きもゆるやかですが、あらゆる災害を想定しての万全な地すべり防止対策がたてられています。危険箇所には水路工や杭打工などを施工し、発生を未然に防ぐのです。

昭和43年被災 昭和44年完成



二瀬 昭和55年度 大滝村大滝



滝の沢 昭和50年度 大滝村大滝



昭和56年現在

白岩 名栗村上名栗



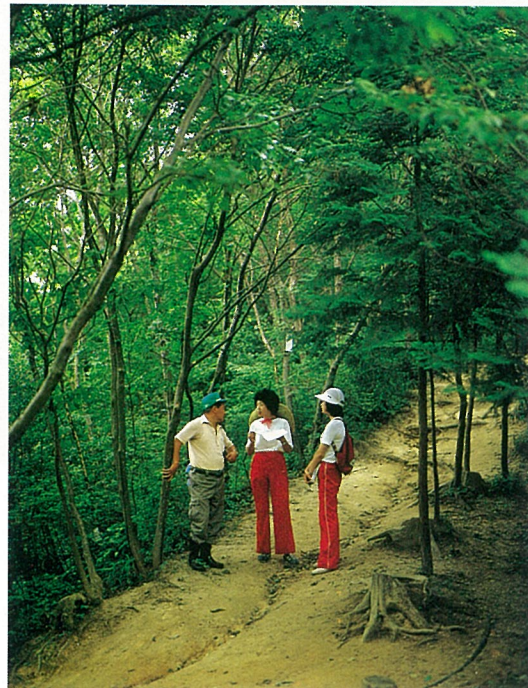
東秩父村皆谷 地すべり地域全景

保安林整備

保安林の持つ機能をより効果的に発揮させるために行います。横瀬村の「県民の森」などにある保安林は、都市に住む人びとの憩いの場としても大いに活用されています。

生活環境保全林整備

水源かん養や県土保全のための森林であるとともに、人びとの保健休養の場としても利用される森林を整備します。



保安林改良

災害を受けた保安林や、機能の低下した保安林をりっぱな森林にもどします。



カブリ穴 昭和55年度 小鹿野町藤倉



金勝山 昭和46～48年度 小川町木呂子



丸山 昭和53～55年度
横瀬村芦ヶ久保（県民の森）

保安林

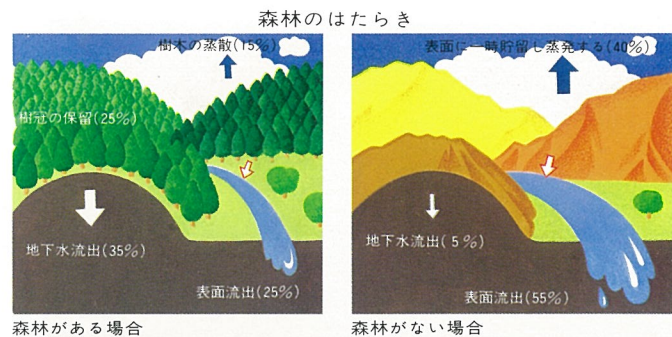
森林は洪水を緩和したり、水を貯えたり、山くずれを防ぐなどの働きもしています。このような私たちの生活に重要な役割を果たしている森林は、「保安林」として特別な管理を行っています。

水源かん養保安林

秩父の森林は「天然のダム」です。水を貯え少しずつ川や湖に流します。洪水を防ぎ、渇水に備える働きをしています。



中津川 昭和35年度 大滝村中津川



二瀬ダム上流

土砂流出防備保安林 土砂崩壊防備保安林

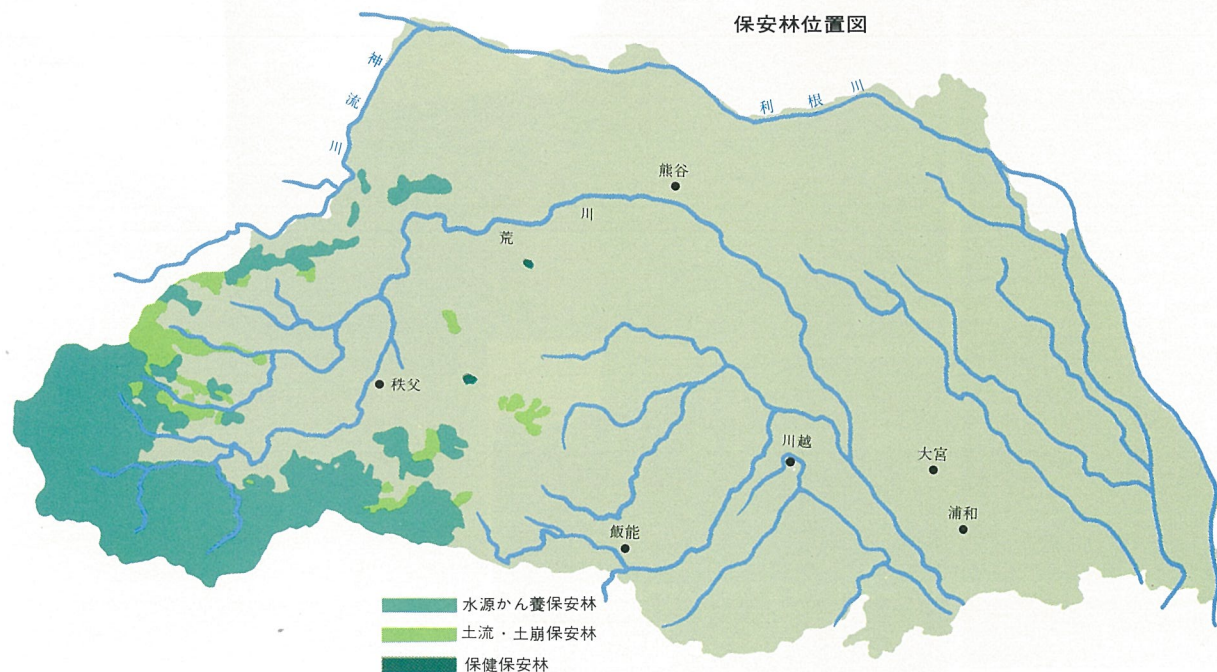
雨水による土壌の浸食を防ぎ、土砂の流出や山くずれを防止します。急峻な地形の多い埼玉では、重要な役目を担っています。



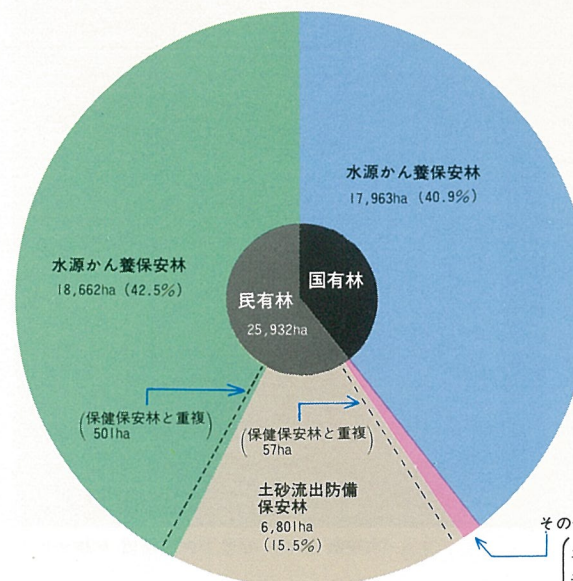
栃本 昭和47年度 大滝村大滝



巢場 昭和49～50年度 大滝村大滝



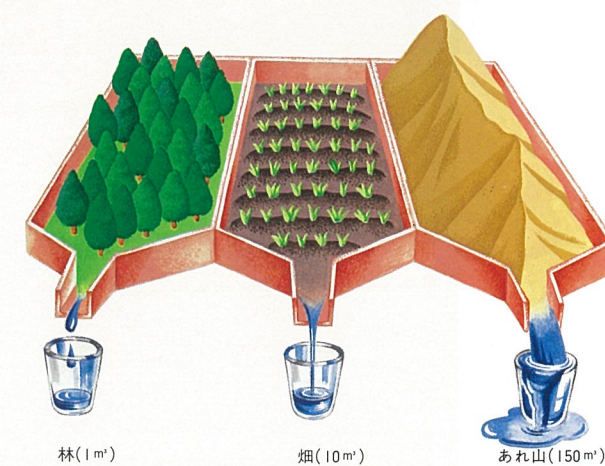
保安林の現況図 (面積 4万3,895ha)



県面積 37万9,932ha

森林面積 12万9,304ha (県面積の34%)

林、畑、あれ山では雨水の流出量がこんなにちがう



- その他 469ha(1.1%)
- 土砂崩壊防備保安林…352ha
 - 干害防備保安林……………31ha (保健保安林と重複 31ha)
 - 防風保安林……………74ha
 - 保健保安林……………10ha
 - 風致保安林……………2ha